

視察報告書

委員会名 教育福祉委員会
参加者 委員長 川合ともゆき 副委員長 水野勝康 委員 岡崎つよし おくだけんじ ささせ順子 なかじま和代 野村弘 富田えいじ
視察日時 令和7年10月6日（火）から10月7日（水）
視察先・視察項目 奈良県生駒市 「介護予防・日常生活支援総合事業」について 三重県名張市 「子ども条例」について
視察報告 <p>生駒市では、高齢者問題に所管課だけでなく全市をあげて対応しています。「支えられる側から支える側へ」という認識のもと、介護予防に取り組んでおり、多種多様な介護予防事業を展開しています。行政が一方的に支援するのではなく、人と人が自然につながり、支え合う関係を育んでいく仕組みとなっていました。特に印象的だったのは、職員による高齢者一人一人に対しての丁寧な声かけ、説明をしていた点です。「まずは安心して参加してもらうこと」「参加すること自体が半分の達成である」という言葉にも、参加への小さな一歩を温かく受け止める姿勢が表れていました。また、卒業した方がボランティアとして再び地域活動に関わることにより、支援を受ける側から支える側へと自然に変わっていく仕組みになっていました。本市においても、丁寧な伴走、庁内が一体となった支援体制の構築が大切であり、誰もが地域の中で役割を見つけ、笑顔で暮らせるまちづくりを目指していく必要があると考えます。</p> <p>名張市では、議員発議により「救済で守り、参加で育てる」という理念のもと、子ども条例が早期に制定されました。条例では、実効性のある仕組みが盛り込まれ、子どもの権利救済委員会においては子どもの権利救済の申し立てが行えることが特徴です。子どもを一方的な保護の対象とせず、まちの一員として尊重、共に育つ姿勢が感じられました。本市においても、こうした理念を踏まえ「救済」と「参加」の両輪で子どもを支えるまちづくりを進めていくことが重要であり、名張市の先駆的な取り組みをしっかりと学び取り、本市にふさわしい子ども条例の制定へとつなげていくことが大切であると感じました。今後も、引き続き注視していきたいと思えます。</p>